

# 第1学年 社会科学習指導案

日時 平成22年9月2日(木) 5校時  
場所 葛巻町立江刈中学校 1年A組教室  
学級 1年A組(男子8名 女子7名 計15名)  
指導者 教諭 松島 一雄

1 単元名 都道府県の調査 (東京書籍 新編 新しい社会 地理)

2 単元について

(1) 教材について

本単元は、中学校指導要領の地理的分野、2内容(2)「地域の規模に応じた調査」にかかわる部分である。この単元では、第2編「地域の規模に応じた調査」において、「身近な地域」「都道府県」「世界の国々」と3つの規模の調査活動を行い、自分の力で地域的特色をとらえる調べ方、学び方を身につけることをねらいとしている。

岩手県は、学校所在地として生徒が生活する地域であり、生徒の地域に関する関心は高い。そこで、単に生活居住区ということだけでなく、様々な地域によって構成されているという見方を習熟させたい。そして、人口・農業・工業などの複数の視点から、岩手県を構成する多くの地域について調査し、各視点ごとに多くの地域に共通する点を明らかにしながら、都道府県の特徴をとらえていく調べ方を見につけさせたい。

また新指導要領「日本の諸地域」における地誌学習では、地域を特色づける地理的諸事象を中核として、それを他の事象と有機的に関連づけることにより、地域の特徴を明らかにすることとしている。そのため、この岩手県の調査の手法を学ぶことにより、地域の特徴に着目させその理由を追及していくことにより、さまざまな地理的条件を結びつけながら、都道府県の特徴をとらえていく調べ方を身につけさせたいと考える。

(2) 生徒について

入学当初のアンケートでは、社会全般が好きという生徒がほとんどであった。そのため授業では意欲的な態度が目立ち、楽しみながら学習している。そして、ノートづくりや話を聞く態度など基本的な姿勢もできつつあると考える。ただ、学習内容の理解については支援を必要とする生徒が数名いるので、繰り返しドリル学習を取り入れることで理解を進めていきたい。

また、積極的に自分の意見を発表できる生徒が多いが、根拠を示して説明することを苦手としている生徒もいることから、グループ活動で自分の意見を説明させることを通して表現力や理解力を高めていきたい。資料活用能力を付けさせ、作業学習を取り入れた授業の実践により、多面的多角的な視野の育成へとしていきたい。

(3) 指導にあたって

岩手県の学習では、分布図作成という作業的学習を中心とする。地図を活用し作業しながら学ぶ地理学習の基本的な学び方を習得させ、その楽しさを実感させたい。はじめに生徒の既得知識を集約し、岩手県のイメージについて確認する。次に各テーマごとに分布図を作成しながら、そのイメージを検証していく。最後に、岩手県というイメージの変化を検討することで、都道府県は様々な地域によって構成されているという見方の定着を図りたい。

東京都の学習では、都道府県を基礎単位としている統計資料を比較検討し、課題解決を図ることで、資料を活用して考察する楽しさを実感させたい。授業のはじめでは、東京都に人口が集中している(一極集中)ことを確認し、その理由を仮説を立て映像資料や統計資料で追求していくこととする。最後には、調べた理由を結びつけて東京都の特色をまとめることで、1つの特色に着目しながら、都道府県の特徴をとらえていく調べ方の定着をはかりたい。

また、単元を通して身につけた都道府県規模の地域の見方と、地域的特色をとらえる調べ方の深化を図るため、それらを活用できる活動を単元のまとめに位置づけたい。

本校の研究主題は「基礎的・基本的な知識・技能を習得し活用できる生徒の育成」である。これは、学習指導要領の社会科の目標である「生徒の自ら学び、自ら考える力を育成すること」と一致している。この目標を達成するには生徒の主体的な学習活動「自ら学ぶ授業」が行われなければならない。

そのためには、小グループによる話し合いを取り入れたり、地理的事象に興味関心をもって課題を設定し、それを追究、解決するという学習活動を取り入れることも必要である。

本単元では、課題追究の場面で、既習事項古代の遺跡や遺物の写真・レプリカ、古代の中国や日本の文献等のなど「適切な資料」を活用し、多面的・多角的な見方・考え方に基づき、自ら課題を解決させたい。更に、「適正な表現力」を身に付けさせたい。また、教材化においては、小学校の学習内容を把握したうえで内容を焦点化し、生徒の主体的な学習活動が十分にできるように配慮していく。

3. 単元の指導計画と評価計画

(1) 単元の目標

岩手県と東京都の地理的事象を見いだして追求し、地域的特色を捉えるとともに、都道府県規模の地域的特色をとらえる視点や方法を身に付けることができる。

(2) 単元の評価規準

【関】	都道府県規模の地域的特色をとらえることができるという自信が深まり、様々な都道府県への興味・関心が高まる。
【思】	複数の都道府県の地域的特色を結びつけて、自分の住む地域の課題や将来像について、自分なりの考えをもつことができる。
【技】	資料を適切に収集・活用し、グラフや分布図などにまとめ、都道府県の地域的特色を分かりやすく説明することができる。
【知】	岩手県と東京都を例に、わが国の地方都市と大都市に共通する特色や課題をとらえることができる。

(3) 指導計画（評価計画等）

時間	主な学習内容及び活動	具体的評価規準			
		関心・意欲・態度	思考・判断	技能・表現	知識・理解
1	各都道府県について知っていることを話し合い白地図にまとめる。			白地図を利用し、都道府県の位置を示すことができる。	既得事項を積極的に発言し、白地図にまとめることができる。
2	都道府県の特徴を知るための調査方法を考え、岩手県の特徴に対し仮説を立てる。	既得事項から、岩手県の特徴について仮説を立てることができる。	調査に適した調べ方を考えることができる。		
3	岩手県の自然環境と人口について分布図にまとめ、明かとなった特徴を話し合う。	岩手県の地理的事象に関する関心を持つことができる。	地図や資料の読み取りを通して、有用な情報を適切に選択することができる。	統計表から、グラフを作成し、その変化を読み取ることができる。	
4	岩手県の自然環境と観光について分布図にまとめ、明かとなった特徴を話し合う。			統計表から、グラフを作成し、その変化を読み取ることができる。	岩手県内市町村の第三次産業のもつ課題を理解することができる。
5	岩手県の交通網と工業団地について分布図にまとめ、明かとなった特徴を話し合う。		岩手県内の交通網の整備について、工業団地立地条件と関連づけながら調査することができる。	統計表から、グラフを作成し、その変化を読み取ることができる。	
6 本時	岩手県の地域的特色の既得知識と、調べて確かめた特徴を比較し、調査した見方や調べ方を整理し、地理的特色を理解する。			地域を全体の見方ととらえ、複数の視点からとらえると、これまでと違った地域的特色が明らかになることに気づき、それを適切にまとめることができる。	岩手県について、多面的な視点から、地域ごとの特徴を理解し、また、調べる方法も理解できる。
7	人口の集中する東京都	東京都の地理的事象に関する関心を持つことができる。			既得事項を積極的に発言し、白地図にまとめることができる
8	なぜ東京都に人口が集中するのかという課題に対し、グループで仮説を立てる。		人口過密によって、どのような問題が起こるか考えることができる。	東京都に人口が集中する理由を仮説を立て、多面的に考察することができる。	
9	グループごとに資料を使い仮説を検証し、分かったことを発表し合う。			統計資料、路線図、交通網図を読み取ることによって、東京都への集中度を説明することができる。	
10	東京都の地域的特色の既習知識と、調べて確かめた特徴を比較し、調査した見方や調べ方を整理し、地理的特色を理解する。			地域を全体の見方ととらえ、複数の視点からとらえると、これまでと違った地域的特色が明らかになることに気づき、それを適切にまとめることができる。	東京都について、多面的な視点から、地域ごとの特徴を理解し、また、調べる方法も理解する。
11 12 13 14	各自が興味関心のある都道府県の地域的特色を調べ、個人新聞にまとめ、自分が調べた地域の見方や調べ方を発表し合う。				

#### 4 本時の学習

##### (1) 目標

- ①分布図をもとに、岩手県内各地域の特色をつかむとともに、それらに関連づけて県内全域の特色をまとめることができる。【技能・表現】
- ②岩手県について、多面的な視点から、地域ごとの特色を説明することができる。【知識・理解】

##### (2) 具体の評価規準

評価の観点	具体的な評価規準		
	A：十分満足できる	B：概ね満足できる	C：「努力を要する」と判断された生徒への具体的な対応・手立て
技能・表現	地域を全域の見方でとらえ、複数の視点から調べると、これまでと違った地域的特色が明らかになることに気付き、それを適切にまとめることができる。	地域を全域の見方でとらえ、複数の視点から調べると、これまでと違った地域的特色が明らかになることに気付くことができる。	資料や統計を読み取る手立てを組み、必要なキーワードを示す。
知識・理解	岩手県について、多面的な視点から、地域ごとの特色を資料をもとに説明することができる。	岩手県について、多面的な視点から、地域ごとの特色を学習シートに記入することができる。	資料から、地域ごとの特色をとえることができる。

##### (3) 学び合いの3つの要素の取り入れについて

###### ①作業的な学習

生徒の自作資料を活用し、グループごとに見比べたり考察させたりする作業を通して、本時の学習についての意欲をもたせたい。

###### ②小グループでの話し合い

本時は、課題解決場面において小グループでの話し合いを設定する。予想を検証する場面では、様々な資料から自分の意見をもったり、考えがまとまらない場合には、友人の意見を聞いたりすることによって理解をを深められるよう配慮する。

###### ③表現の共有と交流

小グループで学習した後、わかったことを生徒個々に発表させる場面を設定し、本時の学習のまとめにつなげていく。教師が教える形でまとめるのではなく、できるだけ生徒の発言をつなげながら、まとめにもっていく。友人との思考の共有によって、「わかった」「そうだったんだ」という自己解決できた喜びに満ちた授業にしたい。

(4) 展開

	学習活動		指導上の留意点・<資料>	評価規準 (評価方法)
導入 5分	<p>1 様々な視点で調べた岩手県の分布図を結びつけ、岩手県の地域的特色をまとめて発表し合う。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>完成した地図を見てみると、共通点のある地域が見つかりそうだ。</li> <li>平野や盆地に人口は集中している。</li> <li>山間部は人口が少ない。酪農地帯や観光地となっている。</li> <li>工業団地として、企業を誘致している市町村もある。</li> </ul>	表 作	<p>1</p> <p>①前時までの学習が想起できるように、3つの分布図から地域ごとの共通点やその共通点に当てはまらない地域の特徴を適切にまとめていた生徒に意図的に指名し、発表させる。</p> <p>②いくつか特色のある地域で構成されていることが分かるように、3つの分布図を重ねて提示する。</p> <p>③地域の見方に着目してまとめることができるような学習シートを準備する。</p> <p>&lt;生徒が作成した視点別分布図・OHP・TPシート・学習シート&gt;</p>	
岩手県の地理的特色を理解しよう				
展開 35分	<p>2 岩手県の地域的特色の既得知識と調べて分かった特色を比較して、共通点や違いについて話し合う。</p> <p>(1)グループごとに話し合い、まとめる。</p> <p>(2)まとめたことを全体で発表しあい、共通点と違いを整理する。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>最初に考えていたように人口が少ない地域も多いが、人口が集中している地域もある。</li> <li>酪農が盛んだと思っていたが、県南地域では行われていない。</li> <li>工業は全く盛んではないと考えていたが、交通網が発達している地域では、工業団地が形成されている。</li> </ul> <p>3 岩手県の地域的特色のとらえ方が、変わった理由について話し合う。</p> <p>(1)個別に考え、自分なりにまとめる。</p> <p>(2)まとめたことを全体で発表しあい、学習シートに修正した自分の考えをまとめる。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>今まで分かっていたつもりだけけれど、視点を変えると、分からないことがたくさんあったからではないか。</li> <li>関心がなかったことも調べてみて、詳しく知ることができたからではないか。</li> <li>岩手県という1つのイメージで考えるのと、県内の地域で考えるのと大きな差があることがわかったからではないか。</li> <li>いままでは、1つのことだけで岩手県のイメージを考えていたが、2つのことを結びつけて考えたからではないか。</li> </ul>	グ 作 表	<p>2</p> <p>①既得知識でまとめた日本地図のプリントを配布し、学習シートにまとめたことと比較するよう指示する。</p> <p>&lt;生徒作成の日本地図&gt;</p> <p>②地域の見方が変わったことによる変化、調べ方が変わったことによる変化に分けて板書する。</p> <p>③机間指導を行い、変化について気づいている生徒を把握し、優れていることを具体的にほめる。</p> <p>④地域の見方と視点ごとの調べ方に着目してまとめることができるような学習シートを配布する。&lt;学習シート&gt;</p> <p>3</p> <p>①都道府県の1つとして岩手県をとらえていた見方が、いくつかの地域から構成される地域として岩手県をとらえる見方に変わったことに気づかせるため、日本地図と岩手県の地図を提示する。</p>	<div style="border: 1px dashed black; padding: 5px; width: fit-content;">活用させたい 知識・技能</div> <p>県内各地の 地理的特色</p> <p>[技]各地域の特色を関連づけ、県全体の特色をつかむことができる。 (観察、シート)</p> <p>[知]岩手県について、多面的な視点から地域ごとの特色を説明することができる。 (発表、シート)</p>
まとめ 10分	<p>4 都道府県の特徴をとらえるための地域の見方と調べ方を整理する。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>都道府県規模のとらえ方として、県を1つの地域としてとらえる見方と、県をいくつかの地域に分けてとらえる見方がある。</li> <li>視点を決めて、「なにが、どこに、どのように分布しているのか」を調べ、その共通点や違いをまとめると、その地域の特徴をとらえることができる。</li> </ul>	表	<p>4</p> <p>①学習内容の定着を図るため、地域の特徴をとらえるための見方や調べ方について、発表させる。</p> <p>②生徒作成の分布図を活用し、発表内容が具体的にはどのようなことなのかを指導する。</p>	